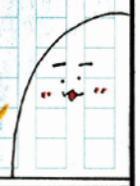
たまごくん



3-2

発行者

成田 柚那
西山 菜那美

悔しさをバネに頑張った 文化祭

二組では体育祭や昨年の行事の反省と悔しさをバネに部門別活動や学級合唱を頑張ってきた。部門別活動では昨年より良い形にするため話し合いをし色々工夫し皆活躍した。

合唱決めでは昨年の合唱よりレベルの高い曲を奥村先生に勧められ、本当にその合唱曲でいいか学級で話し合いをした。意見は様々で昨年は難しい曲を選択し良い結果が出なかったことから決めるのに時間がかかった。

リーダーを中心に改善点を考えたりと本番まで全力で練習した。本番は「先生を泣かせる」を目標に全力で歌った。結果は最優秀賞。全校で一つの賞はとても達成感があってうれしかった。

少しピリピリした練習の雰囲気も何もかも全て最優秀賞のうれし涙のためだった。「ナ字架の島」が二組を強くした。(西山)

3の2に『アンケート』

今回は、元気で明るい三年二組に担任である奥村先生のいい所をアンケートした。結果は以下の通りである。やはり「かわいい」や「おもしろい」などの回答が多かった。(成田)

1 かわいい 13P
2 優しい 11P
3 おもしろい かっこいい 8P

絵がうまい(5P) 美人(2P)
バドミントンが上手(4P)

生徒に色々体験させようと行事では色々と生徒に任せてくれる

など

球技大会！

私たち三年二組はペナントの数が少なく球技大会でできるだけたくさんのペナントを取るため全力で練習した。二組は最初バレーボールの希望が圧倒的に多くチーム決めに時間がかかった。

練習試合の日は高校の体験で多くの人が不在だったものの、ほとんど一位を取ることができた。そして迎えた本番の日、ほとんどが準優勝、男子バレーが優勝することができた。

とても悔しかったが楽しく怪我なくおえた。次はボッケー大会で球技大会での悔しさをぶっけたい。(成田)

学級の様子

前期から後期に変わったが二組は前期と変わらず賑やかだ。だがやはり授業中うるさくなってしまう時がある。その時は学級部を中心に注意をしている。

また挨拶では授業の始めと後の礼を分離礼にするようにした。分離礼は高校面接に多く活用するので日頃から行うクセをつけたい。二組は緊張感が無いので緊張感を持ち生活することを心がけたい。(西山)

進路について

私たち三年生は夏休み頃から高校の説明会や体験入学など、これからの進路に関わることが増えてきた。高校受験は自分の人生の最初の壁だ。だがそれを乗り越えた先には今は見えていないたくさんの希望があることだろう。(成田)

編集後記

この新聞を書き、残りの中学校生活の短かさを実感した。失敗した事、成功した事を思い出と言えるよう残りを生活したい。(西山)